

第3回女性文化研究所ジェンダーフォーラム

からだ 身体 は 誰 のものか ?

～ 見る・動かす・整える から考えるジェンダー ～

2026年3月26日 (木)

15時～17時 オンラインシンポジウム

@Zoomミーティング

申込締切：2026年3月24日 (火) 正午



課題提起講演：

①かわいいは誰のものか？ ロリータファッションと<見られる身体>の政治学

菊田琢也 専任講師 (本学環境デザイン学部 環境デザイン学科)

②<身体(ボディ)イメージ>：女子学生の体格願望・スポーツにおける健康な身体

白川哉子 教授 (本学食健康科学部 健康デザイン学科)

③<コントロールされる身体>：化粧の歴史・美容医療を巡って

木村美也子 教授 (本学人間社会学部 現代教養学科)

私たちは日常生活のなかで、他者の身体を「見る」こと、自分の身体を「動かす」こと、「整える」ことを当たり前のように行っています。しかし、こうした行為や感覚は本当に個人の自由な選択なのでしょうか。

本シンポジウムでは、美術史やファッションにおける女性像・男性像、スポーツ界における身体評価やリーダーシップ、そして美容医療が日常化する現代社会を題材に、身体とジェンダーの関係を多角的に考えます。「見られる身体」「鍛えられる身体」「管理される身体」をめぐる社会的な期待やジェンダー規範が、私たちの自己理解や可能性にどのような影響を与えてきたのかを明らかにできると考えます。

参加者の皆様が、自分自身の経験と重ね合わせながら、より自由で多様な身体のあり方を考えるきっかけとなる場にしたいと思います。

本テーマに関心のあるあらゆる方の参加を歓迎します。

* 本フォーラムでは、事後アンケート回答をお願いしております。

どなたでも参加可 !!

無料

主催：昭和女子大学女性文化研究所 〒154-8533 世田谷区太子堂1-7-57

問い合わせe-mail : iwc-admi@swu.ac.jp

お申込はこちらのQRコードのフォームから ⇒
<https://forms.gle/VM5beSuVxxhNDK7A7>



プログラム概要

【開会挨拶】

金尾 朗 昭和女子大学学長

【オープニングメッセージ】

坂東真理子 昭和女子大学総長

「『活躍してほしい』と言われる時代に、私たちは何を背負っているのか」

【フォーラム】

コーディネーター 北本佳子

(本学女性文化研究所副所長)

課題提起講演 ① ② ③

トークセッション

・在学生の発表

・研究者・実務家の視点から

① ⇒ 野口朋隆 准教授

(本学人間文化学部 歴史文化学科)

② ⇒ 稲沢裕子 特命研究員

(本学現代ビジネス研究所)

③ ⇒ 小川睦美 教授／本学副学長

(本学食健康科学部 健康デザイン学科)

質疑応答 + 参加者の皆さん

クロージング／全体総括

坂東真理子 昭和女子大学総長

【総合司会・閉会挨拶】

武川恵子 本学女性文化研究所長

申込期間：2/5(木)～3/24(火)正午